

# ふるさと応援団 木島平会会報

## 和と洋のコラボ！ 25周年を祝う

10月9日、調布市グリーンホールにおいて、木島平いくなか交流フェスタ in 調布が開催されました。今年は姉妹都市盟約25周年の記念開催として、調布市青少年吹奏楽団と鬼島太鼓が出演し両者のコラボ演奏も行われました。また、式典では25周年の記念品交換を行い、木島平村から調布市へ「村長の太鼓判」をモチーフにした

米俵の焼き物が、調布市からは、深大寺の赤駒が贈られ、お互いの絆を深めました。当日は、あいにくの雨となりましたが、過去最高の820人が来場され、吹奏楽の繊細な音色と和太鼓の迫力ある演奏に圧倒された様子でした。



## 会員のひまわり

### 思い出 下高井農林高校の頃

私は、終戦の翌年4月に下高井農林学校に入校した。当時は入学試験があり、上木島小学校からは6人が合格し、農科3人、林科3人だった。クラスの中に一、二年歳上の人が数人おりました。私達が二年生になる年に学校の制度改革があり、下高井農林学校は五年制から六年制になり、高校と中学校に分かれた。別れたと言っても教室はそのまま。私達は併設中学校の二年生に進級したが、新一年生の入校がなかった。村の小学校を卒業すると高等科があり、二年生迄だったものが、一年延長されて新制中学校となったから、併設中学校卒業生と新制中学校卒業生が高校一年生で同学年になった。新制中学校卒業生は、男女共学で学校の制約もなく、自由な環境だったと聞いて大変損をしたと思いました。

農林学校に入学しても翌日から、午前中は持参の藁で『縄ない』、午後は農業実習という日が続いていた。やっと配布された教科書は新聞紙のようなもの。自分で裁断し、糊が無いのでご飯粒で貼り付ける者、糸で綴じる者等様々で、2人に一冊という教科書もあり、紙質が悪く所々に穴が開いている本も有るなど、特に困ったのは数学の教科書だった。この穴に、+、-、×、÷を挿入して計算してみた。どんな授業があったのか、覚えていない。思い出すのは中学三年間と高校一年の四年間、最下級生だったこと。当時、激励会という悪しき会があり、毎月一、二回最上級生の教室に呼ばれ、脚絆をしたまま教壇に三列で正座した。列の前に丸椅子が置いてあり、指名された者がその椅子に正座させられる。態度、服装が悪い、欠礼した等と一時間程「しごかれる」、上履きで床や机を叩く、大声で怒鳴る等して、下級生が蒼くなり震える者、声を出して泣く者ありで大変だった。

高校二年生になり、激励会もなくなり、休み時間に初めて体育館に行ったら、下級生に邪魔者扱いされて驚いた。私たち併設中学校卒業生は皆で遊ぶことを知らない仲間だった。私達は、登下校時は前を向いて後方に全神経を払っていた。上級生に欠礼したら激励会が怖い、学校でも教室で自分の席を動けないトイレは大変だった。廊下で上級生に合うと最敬礼し、数が多いとトイレも出来ない。四年間は学校でも、家に居ても、上級生の目を逃れて過ごした良い思い出もある。バレーボール部を創立。コートを自分達で作り、汗を流した。高三の年に第一回全国高校スキー大会に優勝したこと。個人的には測量士補合格。長野県高校校長会長賞受賞。そうして就職難の折に二人の難関を突破して警視庁に合格。農林学校の六年間が終わったが、警視庁はさらに厳しかった。